

第10回 宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 昭和60年5月15日（水）

午後2時～3時

2. 場 所 宇宙開発委員会会議室

3. 議 題 放送衛星2号について

4. 資 料

委10-1 放送衛星2号-b（BS-2b）の試験状況及び打上げについて

放送衛星2号-b (BS-2b) の打上げについて

昭和60年5月15日

宇宙開発事業団

宇宙開発事業団は、昭和59年10月19日付けの放送衛星対策特別委員会の報告に基づき、BS-2b用中継器について、所要の対策を施し、本年1月から熱真空試験を実施してきました。

この熱真空試験において、3系統ある中継器のうち2系統については当初予定の試験を2月に終了し、結果は良好でありましたが、1系統については動作状態に不安定さが見られました。このため、この1系統については、別の進行波管と交換することとし、この進行波管単体で熱真空試験を行い、3月に終了し、結果は良好でありました。

単体熱真空試験の終了後、進行波管の交換及び中継器の組立て作業を行いました。その後に行う中継器全体の総合的な機能試験については関係機関の要望等をも考慮しつつ検討を続けた結果、より一層慎重に品質確認を行うこととし、長期の中継器熱真空試験を含めて実施することとしました。この試験は現在実施中ですが5月下旬までかかると見込まれ、その後に予定している衛星全体の試験、射場での打上げ準備作業のスケジュールを考慮すると、BS-2bの60年度夏期打上げは延期せざるを得ない見通しとなりました。

このため、宇宙開発事業団としては、60年度冬期に打ち上げることとして今後の作業を進めて行きたいと考えています。

なお、この打上げ延期に伴う今後の打上げ計画への影響等については、今後関係機関と調整して行くこととしています。

放送衛星2号-b (BS-2b) の試験状況及び打上げについて

昭和60年5月15日

宇宙開発事業団

- 1 放送衛星2号-b (BS-2b) の中継器については、昭和59年10月19日付けの放送衛星対策特別委員会の報告に基づき、所要の対策を施した後、昭和60年1月から3月にかけて、熱真空試験を実施した。
- 2 この熱真空試験において、3系統ある中継器のうち、2系統については当初予定の試験を2月に終了し、結果は良好であったが、1系統については動作に不安定さが見られた。このため、この1系統については、別の進行波管と交換することとし、この進行波管単体で熱真空試験を行い、結果は良好であった。熱真空試験終了後、進行波管の交換及び中継器の組立て作業を行い、その後に中継器全体について総合的な機能試験を行うこととした。
- 3 この中継器の総合的な機能試験については、関係機関の要望等をも考慮しつつ検討を続けた結果、より一層慎重に品質確認を行うこととし、長期の熱真空試験を含めて実施することとした。
- 4 この試験は現在実施中であるが、5月下旬までかかると見込まれ、その後に予定している衛星全体の試験、射場での打上準備作業のスケジュールを考慮すると、これらの作業日数を短縮するとしても、昭和60年9月末までの打上げを確保することはきわめて難しいことが明らかとなった。

5 以上のことから、BS-2bの昭和60年度夏期の打上げは延期せざるを得ない見通しであり、事業団としては昭和60年度冬期に打上げることとして今後の作業を進めて行きたいと考えている。

6 なお、昭和60年度冬期に計画されているH-Iロケット試験機1号機への影響については、後続の打上げ計画への影響を含めて今後、関係方面と調整して行くこととしたい。